

そのAIは、 世界を 動かせるか。

受講生
募集

未来を動かす人材を募集

#AI・ロボティクス

#システム開発

#社会実装

#センシング・制御

#シミュレーション

#現場課題分析

アイデアを、現場で活きる技術へ。

学ぶ

AI・ロボティクス・シミュレーションの基盤技術を体系的に学ぶ。

解決する

プロトタイプを開発し、課題解決への道筋を考える。

つくる

現場課題をテーマにチームでフィジカルAIを形にする。

社会へ

社会実装を見据え、現場で活躍できる実践力を身につける。

参加申し込みはこちら ▶



プログラムの目的

生成AIの発展により、AIは「考える」だけでなく、ロボットやモビリティなど現実世界で行動するフィジカルAIへと進化しています。

本プログラムでは、

大学の先端研究 × 企業が持つ実践技術 × 現場ニーズ

を融合し、フィジカルAIを社会実装できる人材の育成を目指します。

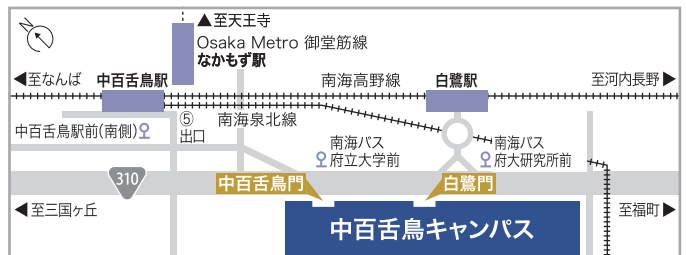
プログラム詳細

実施時期：2026年10月～12月 毎週水曜日 13:15～16:30

※不定期に10:45～12:15の実施や企業によるセミナーあり ※全日程への参加を推奨しています

開催日時	課程・プログラム	内容	到達目標
10/7	第1課程：AIに関する技術の教育	①生成AI・LLM	クラウド/ローカルAIを活用し、AIを用いた問題解決やプラン設計ができる。
		②AIエージェント	
10/14		③プランニング	
10/21	第2課程：ロボティクスに関する技術の教育	①実機制御	ロボットの構成を理解し、実機の制御・シミュレーションや環境のセンシングができる。
		②シミュレーション	
10/28		③センシング	
11/4	第3課程：フィジカルAIに関する技術の教育	①システム統合	AIとロボットを統合し、フィジカルAIシステムの基本構成を実装できる。
11/11		②デモ開発	
11/18		①②アイデア出し	
11/25		③～⑥開発	
12/2		⑦⑧フィードバック	
12/9		⑨～⑭開発	
12/16	第4課程：フィジカルAIに関するハッカソン		社会課題に対して、フィジカルAIを用いたプロトタイプを企画・開発・検証できる。
12/23			
12/23	第5課程：成果発表	①成果発表	開発成果を論理的に説明できる。
随時	企業によるセミナー(複数回)	講演会／見学会	企業の技術動向・実課題を理解し、社会実装を意識した課題を設定できる。

実施会場	大阪公立大学 中百舌鳥キャンパス
参加費	負担なし(中百舌鳥Cへの交通費は自費)
募集人数	10名程度
対象者	大学生、大学院生、社会人
推奨スキル	・Pythonによる基本的なプログラミング経験 ・Linux(Ubuntu等)の基本操作



こんな人におすすめです

- ✓ AIを実社会で活かしたい
- ✓ ロボットに興味がある
- ✓ 企業の最前線を知りたい
- ✓ 社会課題を解決したい
- ✓ 新しい技術を学びたい

参加申込はこちらから

申し込み期間 ※定員になり次第締切

9.14 8:00~
MON



お問い合わせ先

大阪公立大学 藤永 拓矢、蔡 凱 ▶ tfujinaga@omu.ac.jp cai@omu.ac.jp